

科目名 (科目番号)	成人看護学 援助論Ⅱ (急性期) (074151)	教員名	吉田和美 日向野香織 宮本まり子 岡嶋妙子 須田香奈子他	学科等	看護	必修	履修年次	3
				曜日・時限等		時間割表参照	単位数	2
				オフィスアワー			各教員研究室	
<p>急激な健康破綻をきたした成人期にある人の特徴、生命危機状態にある急性期の代表的な機能障害のある患者の看護、および手術療法に伴う身体侵襲と周手術期の基本的な看護について学び考える。急性期・周手術期に行われる看護技術、急性期の患者の看護過程、術後の生活の再調整・再構築のための指導の基礎を演習により習得する事を目的とする。</p> <p>関係する垂直軸:看護、健康の状態、人間の理解、コミュニケーション、多職種連携、情報の組織化、生活環境</p>								
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	急性期にある患者と家族の特徴と看護	到達目標: ①急性期の状態にある患者の身体的・精神的反応を理解する。 ②急性期の状態にある成人期の患者と家族の特徴、危機的状況での患者の状態を全人的に理解し患者と家族について理解する。 学習内容: ①急性期の状態を生じる原因、生体侵襲について学習する。 ②急性期にある患者のニーズ、家族の特徴、危機的状況での優先度・治療選択・意思決定について学習する。					
	2							
	3	周手術期(手術前)にある患者と家族への看護①	到達目標:手術前の患者の身体的・精神的なアセスメントとニーズに合わせた看護を理解する。 学習内容:術前検査、術前オリエンテーション、術前訪問、術前訓練、術後合併症予防、不安、全身麻酔、硬膜外麻酔、手術体位、安全管理、リスクアセスメントについて学習する。					
	4							
	5	成人看護技術演習	到達目標:手術前訓練、早期離床、術後の観察、合併症予防が実施できる。 学習内容:呼吸訓練、弾性 stocking 装着、術直後全身観察・合併症の観察、早期離床の技術について学習する。					
	6	周手術期(手術中)にある患者と家族への看護	到達目標:手術に伴う身体侵襲と生体反応、患者と家族の看護について理解する。 学習内容:身体侵襲と生体反応、麻酔導入から抜管まで、モニターリング、術中検査、麻酔合併症、出血、感染について学習する。					
	7	周手術期(手術後)にある患者と家族への看護①	到達目標: ①身体的変化、回復過程、術後合併症、異常の早期発見、術後管理、機能障害や生活制限のアセスメントと看護について理解する。 ②術直後・1日目にある患者の麻酔・術後合併症と全身状態のアセスメント・看護について理解する。 学習内容: ①全身麻酔、抜管時の看護、回復室(病棟)への移送、手術直後の合併症、観察のポイント、退出条件、機能障害などについて学習する。					
	8							
	9	周手術期(手術後)にある患者と家族への看護②	②術直後・1日目にある患者の全身状態のアセスメント(意識レベル、呼吸器合併症、循環動態、疼痛、術後感染、消化器合併症、ドレーン管理、術後精神状態、早期離床、日常生活の援助と心理的援助、退院に向けた指導・支援について学習する。					
	10							
	11	消化・吸収機能障害にある患者の看護①	到達目標:消化・吸収機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:胃がん、(胃切除術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
	12	消化・吸収機能障害にある患者の看護②	到達目標:消化・吸収機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:胃がん、(胃切除術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
	13	消化・吸収機能障害のある患者の看護③	到達目標:消化・吸収機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:胆石症(胆嚢摘出術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
	14	運動機能障害にある患者の看護	到達目標:運動機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:骨折・四肢切断・リウマチ(人工関節置換術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
	15	統制機能(脳神経機能)障害にある患者の看護	到達目標:脳・神経機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:クモ膜下出血(開頭術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
	16	呼吸機能障害のある患者の看護	到達目標:呼吸機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:肺がん(肺切除術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
	17	循環機能障害にある患者の看護	到達目標:循環機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:心筋梗塞(冠動脈バイパス術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。					
18	生殖機能障害にある患者の看護	到達目標:性・生殖機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:乳がん(乳房切除術)、子宮がん(子宮全摘術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。						

授業計画	19	排泄機能障害にある患者の看護①	到達目標:排泄機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:前立腺がん(経尿道的前立腺切除術)、腎臓がん(腎摘出術)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。
	20	排泄機能障害にある患者の看護②	到達目標:排泄機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:大腸がん、直腸がん(低位前方切除術、マイルズ)を受けた患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。
	21	看護過程演習①	到達目標:周術期の疾病と看護過程についてペーパーペーシエントを用い理解する。 学習内容:ペーパーペーシエントを用いアセスメントと関連図を作成する(個人ワーク)。
	22		
	23	看護過程演習②	到達目標:周術期の疾病と看護過程についてペーパーペーシエントを用い理解する。 学習内容:ペーパーペーシエントを用い問題リスト・看護計画を立案する(個人ワーク)。
	24		
	25	看護過程演習③	到達目標:周術期の疾病と看護過程についてペーパーペーシエントを用い理解する。 学習内容:ペーパーペーシエントを用い問題リスト・看護計画を立案する(個人ワーク)。
	26		
	27	看護過程演習④	到達目標:ペーパーペーシエントを用い退院に向けた指導について理解する。 学習内容:ペーパーペーシエントを用い退院に向けた看護計画を立案完成する(個人ワーク)。
	28		
29	救急・クリティカルケア①	到達目標:救急患者における察態度と重症度、クワイクアルケアの基本、ショック、熱傷、中毒、神経学的所見の応急処置について理解する。 学習内容:救急患者における系統的な身体的・精神的看護を学習する。	
30	救急・クリティカルケア②	到達目標:急性期看護の現状とチーム医療について理解する。 学習内容:急性期看護の現状とチーム医療について学習する。	
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験:筆記試験(80%) 演習・レポート(20%)。 ・筆記試験, 演習・レポートを合わせて60点以上を合格とし, 60点未満の場合は1回のみ再試験を行う。 		
教科書	1)急性期看護Ⅰ概論・周手術期看護 改訂第3版 2)急性期看護Ⅱ救急看護 改訂第3版 3)専門分野Ⅱ 成人看護学[2][3][5][6][7][8][10][11] 4)成人看護学技術 急性・クリティカルケア看護 第2版 ※ 3)病態治療論Ⅱで	1)林直子、佐藤まゆみ 2)佐藤まゆみ、林直子 3)井廻道夫他 4)山勢 博彰、山勢善江	1)南江堂 2)南江堂 3)メヂカルフレンド社 4)メヂカルフレンド社
参考図書	北島 政樹・江川 幸二編:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論, 医学書院 その他, 講義中に提示する。		
教員からのメッセージ	既習の人体の構造・機能, 病態・治療論, 成人看護学の知識の習得をしていないと理解が困難な内容です。講義進度も早い ため, 予習・復習など, 積極的な自己学習が重要です。各教員が臨床での経験を語りながら看護場面を想定できるように しています。演習では, 個人ワークを行います。自らが積極的に演習に参加し成人看護学実習を意識した技術・看護過程を学習 をしてください。レポートはコメントを付して授業内に返却します。		